

株主の
皆様へ

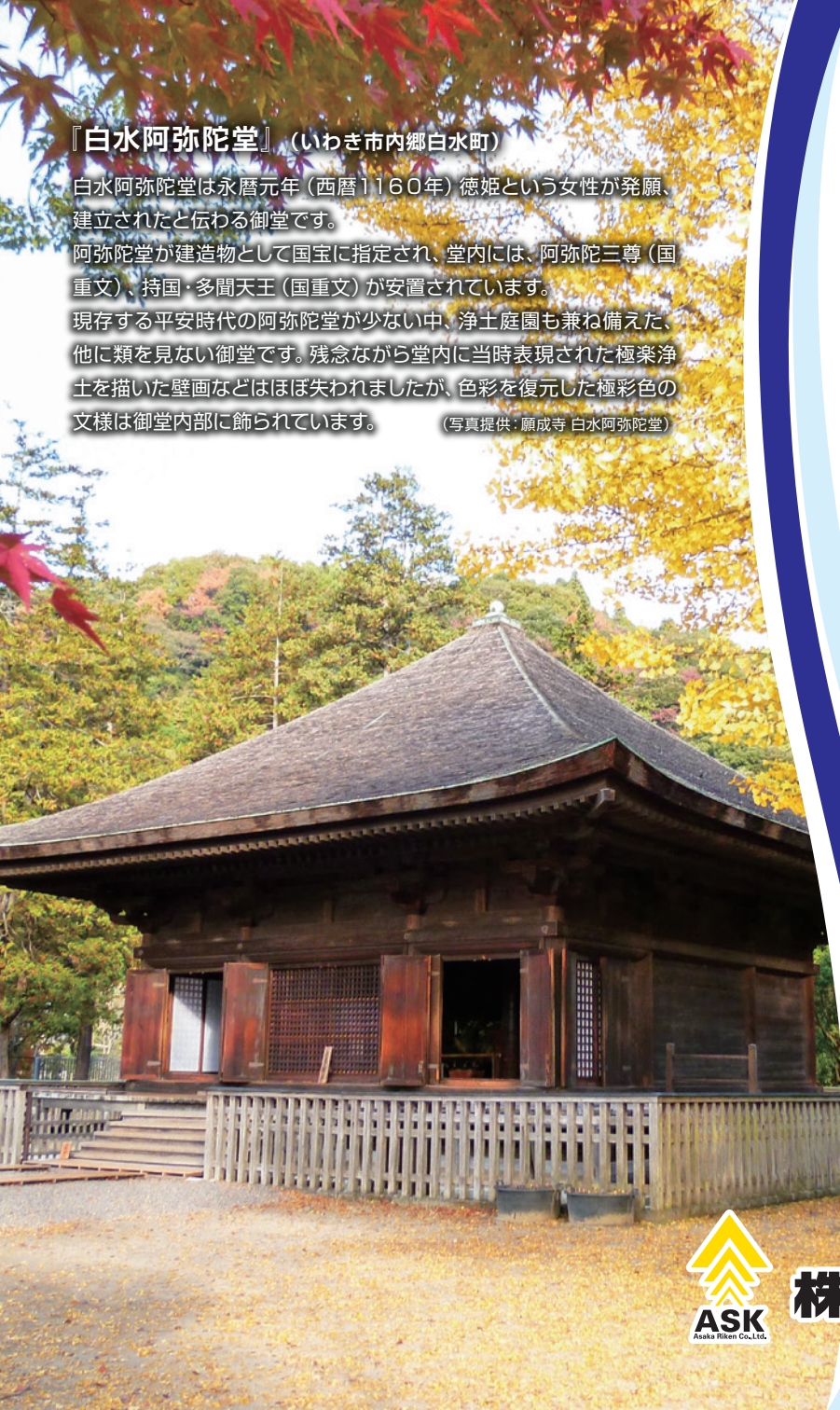
『白水阿弥陀堂』（いわき市内郷白水町）

白水阿弥陀堂は永暦元年（西暦1160年）徳姫という女性が発願、
建立されたと伝わる御堂です。

阿弥陀堂が建造物として国宝に指定され、堂内には、阿弥陀三尊（国
重文）、持国・多聞天王（国重文）が安置されています。

現存する平安時代の阿弥陀堂が少ない中、浄土庭園も兼ね備えた、
他に類を見ない御堂です。残念ながら堂内に当時表現された極楽浄
土を描いた壁画などはほぼ失われましたが、色彩を復元した極彩色の
文様は御堂内部に飾られています。

（写真提供：願成寺 白水阿弥陀堂）



第53期

株主通信

2020年 秋号

2019年10月1日から
2020年9月30日まで

【個人投資家の皆様へ】

詳しくはホームページをご覧ください。



ふくしまから
はじめよう。



株式会社アサカ理研

Top Message

代表取締役社長 油木田祐策



株主の皆様におかれましては、平素より当社の活動に多大なるご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2020年9月期における当社の事業概況、および今後の見通しについてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は一部持ち直しの動きが見られるものの、新型コロナウイルス感染症の影響による企業収益の大幅な減少が継続しており、先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループにおいては中国経済の減速、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症の影響による取引先の減産を受け、貴金属取扱数量は前期を下回りました。また、2019年10月に発生した台風19号による水害により、環境事業の一部製品を生産する富久山工場が水没したことで、環境事業の製品販売数量は前期を下回りました。なお、操業を停止しておりました富久山工場は4月から操業を再開し、5月に復旧を完了しております。主要製品価格は貴金属の価格が米国の金利政策や新型コロナウイルス感染症の世界的拡大による実体経済の減速感が意識されたことにより前期を上回った一方、銅の価格は新型コロナウイルス感染症からの経済活動の再開を進める動きがあり、足元では上昇していますが、当連結会計年度の平均では主に中国経済の減速を理由として、前期を下回る水準となりました。

このような事業環境の中、当社グループは事業環境の好転

期を見据えながら、持続的な成長を果たすべく、事業ポートフォリオを再構成する取り組みを加速させ、最優先で取り組むべき事項を選択し、経営資源を集中させることといたしました。既存事業では主要取引先である電子部品・デバイスメーカーの生産回復期において、「いち早く市場ニーズに応える」ことをテーマとし、既取引先の更なる深耕、独自技術を武器とした新規開拓に注力いたしました。また、不採算事業であったマレーシアでの貴金属事業から撤退することを決定し、事業整理に着手いたしました。新規事業であるレアメタル事業では世界中で需要が高まっているリチウムイオン電池（以下、LiB：Lithium-ion Battery）に着目し、事業化および研究開発に注力いたしました。以前より進めていたLiBの材料に使用されるレアメタルの供給についてはメーカーでの評価試験をほぼ終えており、来期以降に供給を開始することができる見込みとなっております。また従来の取り組みに加えて新たに、将来の使用済み電池リサイクルを視野に、LiBに含まれる有価金属の分離回収と精製・高純度化によるLiB原料への再生、いわゆる“LiB to LiB”に取り組み、技術確立の目途を立てることができております。

当連結会計年度の概況

【当連結会計年度は減収減益】

当連結会計年度の業績は売上高7,412百万円（対前期23.9%減）、営業利益85百万円（同45.8%減）、経常利益63百万円（同53.5%減）、親会社株主に帰属する当期純利益120百万円（同48.3%増）となりました。減収減益の主な要因は事業戦略の見直しに伴う高品位貴金属の取扱量減少、撤退を決定した海外子会社での減少、貴金属事業における主要取引先の減産影響、台風19号の水害によります。なお、特別利益として台風被害による保険金受領額506百万円、特別損失として台風被害からの復旧費用309百万円、関係会社整理損75百万円、事業縮小に伴う関連資産の減損損失40百万円を計上しております。

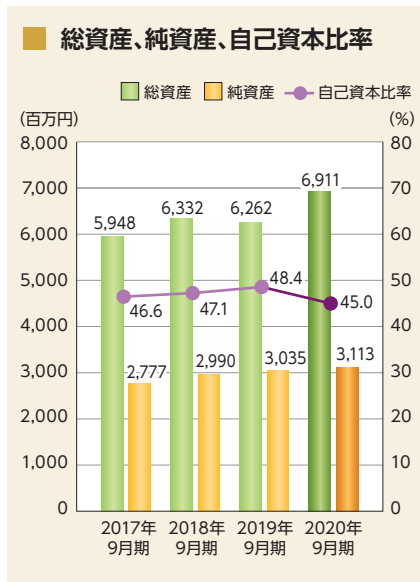
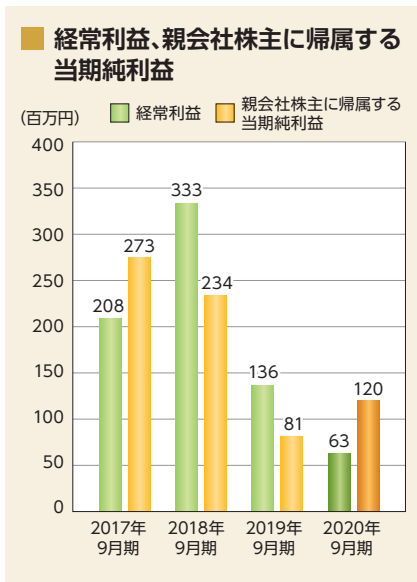
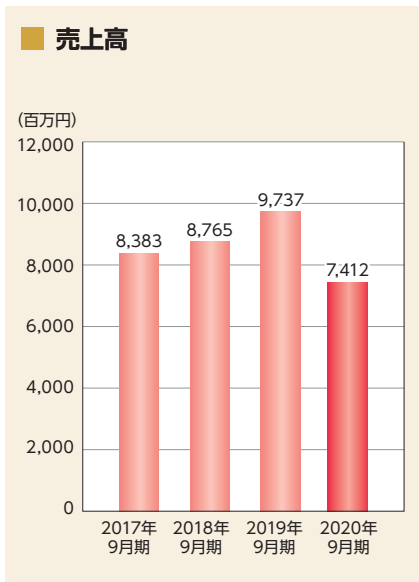
【業績の見通しについて】

新型コロナウイルス感染症の収束時期や米中貿易摩擦の長期化等の不確定要素により、今後の世界経済動向は大きく左右されますが、5GやCASEが普及していく中で、当社の主要な取引先である電子部品・デバイスメーカーの生産動向は徐々に回復して

いくものと見込んでおります。主要製品である貴金属の価格は前述の不確定要素により、通期平均では当連結会計年度と比較して高い水準になると想定しております。また、銅の価格につきましては、新型コロナウイルス感染症からの経済活動の再開を進める動きがあり、足元で上昇してはおりますが、通期平均では当連結会計年度と同水準で推移するものと想定しております。

このような事業環境の見通しのもと、翌連結会計年度の当社グループは売上高7,052百万円（対当期4.9%減）、営業利益115百万円（対当期34.9%増）、経常利益74百万円（対当期18.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益53百万円（対当期55.5%減）を見込んでおります。

売上高は台風19号からの復旧が完了し、貴金属の価格が当連結会計年度を上回るものの、主力製品である金の受託加工取引の割合が高まること、撤退を決定した海外子会社の影響により、減収となると見込んでおります。経常利益は、台風19号からの復旧完了、当連結会計年度より取り組んでいる事業整理による利益率改善により、増益となると見込んでおります。



連結財務諸表

■ 連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当期末 (2020年9月30日)	前期末 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848	1,250
受取手形及び売掛金	364	331
棚卸資産	1,228	1,339
その他	165	84
固定資産		
有形固定資産	2,924	2,916
無形固定資産	39	49
投資その他の資産	340	290
資産合計	6,911	6,262

（単位：百万円）

	当期末 (2020年9月30日)	前期末 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債	2,623	1,937
固定負債	1,174	1,289
負債合計 ①	3,797	3,227
純資産の部		
株主資本		
資本金	504	504
資本剰余金	354	354
利益剰余金	2,242	2,160
自己株式	△ 48	△ 9
その他の包括利益累計額	55	20
新株予約権	1	1
非支配株主持分	4	4
純資産合計	3,113	3,035
負債純資産合計	6,911	6,262

Point ①

主な増加要因は、借入金が337百万円、社債が130百万円、未払法人税等が46百万円増加したことです。

Point ②

主な収入要因は、税金等調整前当期純利益123百万円、たな卸資産の減少額108百万円、保険金の受取額578百万円です。主な支出要因は、災害損失の支払額170百万円です。

Point ③

主な支出要因は、有形固定資産の取得425百万円です。

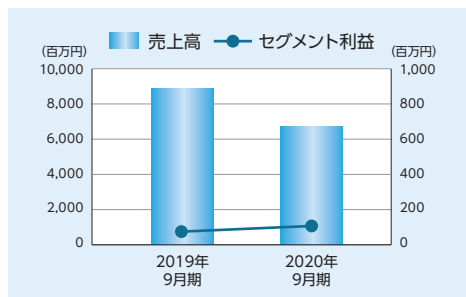
Point ④

主な収入要因は、短期借入金の純増額491百万円、社債発行収入130百万円です。主な支出要因は、長期借入金返済151百万円、自己株式取得支出39百万円、配当金支払額38百万円です。

主なセグメントの状況

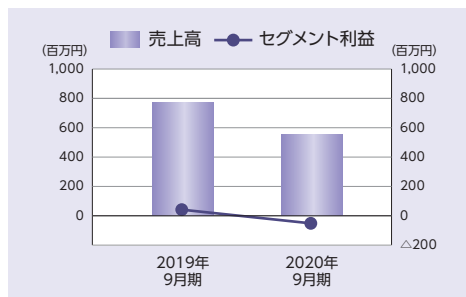
貴金属事業

事業戦略の見直しに伴う高品位貴金属の取扱量減および海外子会社の撤退、主要取引先の減産により、売上高は6,721百万円（対前期23.9%減）の減収となりましたが、利益率の改善が図られたことにより、セグメント利益は116百万円（同57.3%増）の増益となりました。



環境事業

台風19号による水害の影響で売上高・利益ともに前年を下回り、売上高は554百万円（同28.6%減）、セグメント損失は51百万円（前期は42百万円の利益）となりました。なお、被害のあった富久山工場は4月より操業を再開し、5月に復旧を完了しております。



■ 連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期 (2019年10月1日～ 2020年9月30日)	前期 (2018年10月1日～ 2019年9月30日)
売上高	7,412	9,737
売上原価	6,011	8,203
売上総利益	1,401	1,534
販売費及び一般管理費	1,316	1,376
営業利益	85	157
営業外収益合計	26	38
営業外費用合計	48	59
経常利益	63	136
特別利益合計	506	—
特別損失合計	446	10
税金等調整前当期純利益	123	125
法人税等合計	3	44
当期純利益	120	80
非支配株主に帰属する 当期純損失(△)	△ 0	△ 0
親会社株主に帰属する当期純利益	120	81

■ 連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	当期 (2019年10月1日～ 2020年9月30日)	前期 (2018年10月1日～ 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー②	652	447
投資活動によるキャッシュ・フロー③	△ 427	△ 206
財務活動によるキャッシュ・フロー④	377	△ 189
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	600	40
現金及び現金同等物の期首残高	620	579
現金及び現金同等物の期末残高	1,220	620

「LiB to LiB」への挑戦

当社は世界中で需要が高まっているリチウムイオン電池（以下、LiB：Lithium-ion Battery）のリサイクルに着目し、研究開発および事業化に注力してきました。

この度、更に歩みを進め、将来増大することが見込まれる使用済み電池のリサイクルを視野に、使用済み電池に含まれる有価金属をLiBの原料へと再生する、いわゆる“LiB to LiB”の技術確立に目途をつけることができ、その量産プラントの導入について「ふくしま産業復興企業立地補助金（第13次募集）」の指定を受けることとなりました。

当社技術の強みはLiBに含まれるコバルト、ニッケル、リチウム等のレアメタルを高い割合で回収することができることです。コバルト、ニッケルを回収している企業はありますが、リチウムも含めて主要3品をきれいに回収することができるまでに至っている企業は例を見ず、当社はこの分野での先駆けであると自負しております。

使用済み電池が大量に発生することが予想される10年後、動脈ビジネスと静脈ビジネスが手を携えて一体となる「動静脈ビジネス」を実現するリーディングカンパニーとなれるよう、日々邁進してまいります。



Information (2020年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社アサカ理研
本社	〒963-0725 福島県郡山市田村町 金屋字マセロ47番地
設立年月日	1969年8月25日
資本金	504,295,600円

事業内容

- ①貴金属事業 / 金地金、銀地金、白金地金、パラジウム、貴金属回収精製処理および販売、各種治具の洗浄・再生、機能部品の再生および販売
- ②環境事業 / 塩化第二鉄液の再生・販売、銅粉の回収、銅ペレットの製造・販売
- ③システム事業 / 自動計測検査システム、計測ネットワークシステムの開発および販売
- ④その他の事業 / 工業薬品の運搬、廃液の収集運搬

役員

(2020年12月18日現在)

代表取締役会長	山田 慶太
代表取締役社長	油木田祐策
取締役	佐久間良一
取締役執行役員	山田 浩太
取締役	佐久間幸雄
取締役(監査等委員長)	三崎 秀央
取締役(監査等委員)	高野 俊哉
取締役(監査等委員)	遠藤健太郎

(注) 取締役(監査等委員)三崎秀央、高野俊哉、遠藤健太郎各氏は、社外取締役であります。

株式の状況

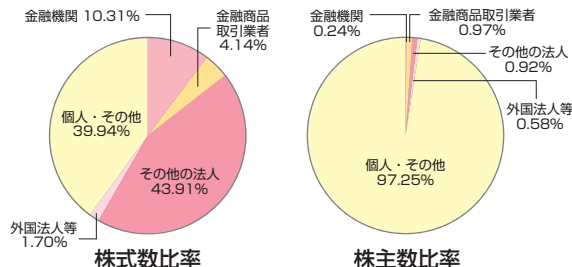
発行可能株式総数	10,200,000株
発行済株式総数	2,572,300株 (自己株式50,225株を含む)
株主数	2,069名

大株主の状況

株主名	所有株式数(株)	持株比率(%)
有限会社モラル・コーポレーション	1,051,030	41.67
株式会社常陽銀行	90,000	3.57
白岩政一	88,400	3.51
株式会社東邦銀行	81,100	3.22
日本生命保険相互会社	72,500	2.88
東京中小企業投資育成株式会社	50,000	1.98
アサカ理研社員持株会	30,700	1.22
長谷川聡	24,800	0.98
auカブコム証券株式会社	23,800	0.94
マネックス証券株式会社	22,337	0.89

(注) 当社は自己株式(50,225株)を保有しておりますが、議決権がないため、上記に含めておりません。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別分布状況



(注) 上記比率は、当社保有の自己株式(50,225株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	10月1日～翌年9月30日	特別口座の 口座管理機関	東京証券代行株式会社
配当金受領 株主確定日	9月30日 なお、中間配当を実施するときは3月31日	同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL:0120-49-7009(通話料無料)
定時株主総会	毎年12月	上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社	公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.asaka.co.jp/ ※ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞に公告いたします。
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL:0120-232-711(通話料無料) 【郵送先】 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部		

ご注意

- (1) 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、東京証券代行が口座管理機関となっておりますので、東京証券代行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんので、ご注意ください。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



写真提供：願成寺 白水阿弥陀堂

白水阿弥陀堂 浄土庭園

平安時代から鎌倉時代にかけて築造された日本庭園の形式で、仏教の浄土思想の影響を大きく受けたものです。平等院鳳凰堂に代表されるように、極楽浄土の世界を再現しようとしたため、此岸（しがん）と呼ばれる「現世」から反橋を渡り中島を経由して、平橋で彼岸（ひがん）と呼ばれる「来世」へ向かう極楽浄土へ辿りつくようになっています。

福島の旅が丸わかり!!

うつくしま観光プロモーション推進機構（公益財団法人福島県観光物産交流協会 内）
〒960-8053 福島県福島市三河南町1番20号（コラッセふくしま7階）
TEL：024-525-4024 FAX：024-525-4087